

大会名称: 第73回国民体育大会 バasketボール競技会
(福井しあわせ元気国体2018 バasketボール競技会)

開催場所: 福井県営体育館 Cコート

試合区分: No. 41 少年男子 準々決勝

期 日: 2018(H30)年10月3日(水)

開始時間: 15:45

終了時間: 17:15

主審: 漆間 大吾(東京都)

副審: 前花 直哉(岡山県)



<p>千葉</p> <p>(関東)</p>	<p>○</p> <p>102</p>	<p>25 — 21</p> <p>23 — 12</p> <p>22 — 14</p> <p>32 — 20</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p>	<p>●</p> <p>67</p>	<p>山口</p> <p>(中国)</p>
------------------------------	----------------------------	--	---------------------------	------------------------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4		磯脇 佑真	0	0	0	0	1	1	0
5	*	兼重 バトリック	6	0	3	0	0	6	2
6		葉丸 侑平	4	0	2	0	0	0	0
7	*	工藤 貴哉	8	2	1	0	1	11	1
8		大澤 響生	22	3	6	1	0	7	2
9	*	大川 颯斗	8	1	2	1	1	5	4
10	*	濱野 裕稀	10	1	3	1	1	4	1
11		飯塚 環	6	0	3	0	0	3	3
12		松岡 龍磨	0	0	0	0	0	1	1
13		楊 博	2	0	1	0	0	2	0
14	*	ダウダ ジャキテ	36	1	15	3	3	27	6
HC 近藤 義行 / TEAM									
合計			102	8	36	6	7	67	20

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	喜志永 修斗	30	4	7	4	2	7	4
5		森 陸斗	0	0	0	0	0	1	0
6		後藤 心太郎	0	0	0	0	0	1	0
7	*	坂口 竜也	5	1	1	0	0	4	2
8	*	近藤 優斗	8	0	4	0	1	10	5
9		砥上 直也	0	0	0	0	1	0	0
10		藤井 翔太郎	0	0	0	0	1	0	0
11	*	藤田 竜輝	13	3	1	2	3	3	2
12		山本 奥賀	2	0	1	0	0	1	0
13		梅田 陽向	0	0	0	0	2	3	0
14	*	刀祢 海夢	9	2	1	1	0	4	0
HC 高部 貴透 / TEAM									
合計			67	10	15	7	10	34	13

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル RB: リバウンド AS: アシスト

両チームマンツーマンディフェンスでゲームがスタート。千葉は#14の連続得点で10-5とリードする。一方山口は、#4の1対1や3Pシュートで反撃し、5分過ぎには17-15と逆転に成功する。その後千葉は、アップテンポなゲーム運びにより、突き離しにかり、25-21と千葉が4点リードで終了。第2ピリオドに入ると、連戦の影響からか山口のシュートが落ち出す。その間千葉は24秒ぎりぎりまで#8の3Pシュートや#10のリバウンドタップシュートが決まり、42-29とリードを広げる。何とか追い上げを図りたい山口だが、#4へのマークを厳しくされ、結局48-33と千葉が15点リードして前半を終了する。第3ピリオド、山口はディフェンスリバウンドを頑張り、#4や#7の得点で43-53と10点差まで詰める。しかし千葉は慌てずオフェンスを組み立て、内外角バランスよく得点を積み上げる。特にこのピリオドだけで12得点をあげた#8の活躍が光り、千葉が70-47と大きくリードを広げて終了。最終ピリオド、後がない山口は残り7分を切ってからオールコートプレスディフェンスで必死に食らいつこうとするが、試合巧者の千葉に逆に簡単にゴールを許し、102-67で千葉が明日の準決勝に駒を進めた。千葉の高い個人技が光った試合であったが、山口の果敢にゴールへ向かう気迫も称えたい。

担当者: 浜本 能弘((一社)福井県バスケットボール協会)

(公財)日本体育協会、(公財)日本バスケットボール協会、(一社)福井県バスケットボール協会

